



株主のみなさまへ

2019

2月期 中間報告書

2018.3.1-2018.8.31



イオンモールいわき小名浜

イオンモール株式会社

証券コード:8905





海外事業の黒字化を達成し、新たな成長ステージへ

代表取締役社長

吉田 昭夫

中間期業績は、計画通りに増収増益を達成し、営業収益、各利益とも過去最高となりましたことをご報告申し上げますとともに、日頃のご支援、ご鞭撻に対し、心より御礼申し上げます。

当社は、持続的成長と高い収益性を兼ね備えた強靱な企業体質の構築を目的とした、2017年度を初年度とする中期3カ年経営計画において、既存のビジネスモデルの革新を図るとともに、新たな成長モデルの確立に向けた諸施策を推し進めています。

海外事業は、上半期に2モールオープンし、海外モール数は26モールとなりました。アジアの消費市場における成長の享受に加え、継続的に活性化を実施することにより、客数、売上、収益の拡大を図っており、営業利益の黒字化を達成しました。今後も新規出店による規模拡大に加え、既存モールの収益力を高め、高い成長をめざします。

中国では、新規モールのオープン(詳細はP3)とともに、5月に「イオンモール武漢金銀潭(湖北省武漢市、2014年

12月オープン)」、6月に「イオンモール蘇州園区湖東(江蘇省蘇州市、2015年5月オープン)」において、大半の専門店を刷新するリニューアルを実施しました。今後も、新規モール出店と既存モールの増床・リニューアルにより事業規模を拡充していきます。

アセアンでは、5月にカンボジア2号店となる「イオンモール セン ソック シティ(プノンベン都)」をオープンしました。「イオンモール セン ソック シティ」は、プノンベン郊外に立地しており、将来マーケットを先取りする視点でのモールづくりを実現し、人々のライフスタイルの向上と地域社会の発展に貢献していきます(詳細はP4)。

国内事業は、これまでにないスピードで事業環境の変化が進展し、商業施設の優勝劣敗が顕著になる中、「THE OUTLETS HIROSHIMA(広島県、4月オープン)」は、地域創生型商業施設として従来のモールとは異なる新フォーマットでオープンし、大変好調に推移しています(詳細はP5)。また、「イオンモールいわき小名浜(福島県、6月オープ

ン)」は、いわき市の掲げる「復興のシンボル」として、防災モールとしての機能を担う(詳細は裏表紙)とともに、「活気溢れる都市拠点づくり」に貢献していきます。

既存モールでは、増床リニューアルを実施した「イオンモール宮崎(宮崎県、3月増床オープン)」、「イオンモール熊本(熊本県、7月増床オープン)」は、圧倒的な地域No.1モールとしてのポジションを確立し、エリアにおけるマーケットシェアを拡大しています(詳細はP6)。「イオンモール熊本」では、増床リニューアル時に館内にある各施設の

素材や設置方法を見直すなど、耐震性能を強化しました(詳細は裏表紙)。全国の各モールにおいても、大地震などの災害による被害を最小限に防ぐため、施設の安全性向上に向けた取り組みを進めていきます。

通期業績も増収増益を計画し、年間配当金は1株当たり3円増配の38円(連結配当性向は27.0%)を予定しています(詳細はP8)。

株主の皆さまにおかれましては、何卒、変わらぬご支援ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

中期3カ年経営計画 5つの成長施策

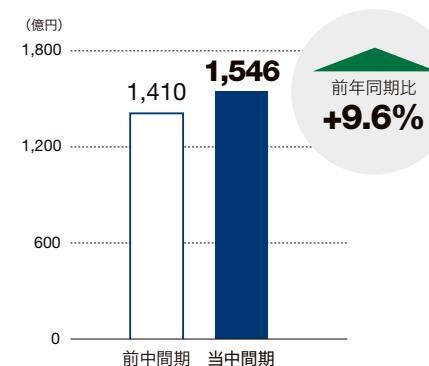
1. アジアにおける成長機会の獲得
2. 新たな国内需要の発掘
3. 圧倒的な地域No.1モールへの進化
4. 都市部における成長機会の獲得
5. 成長を支えるファイナンスミックスと組織体制構築

連結業績/数値計画

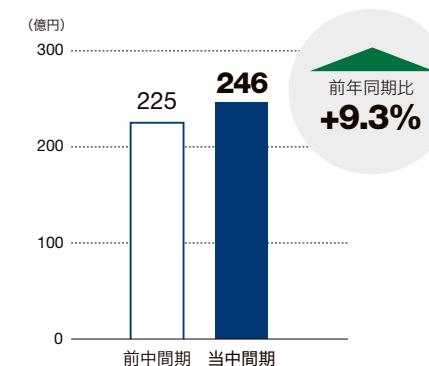
	2017年度 (実績)	2018年度 (計画)	2019年度 (計画)
営業収益	2,881億円	3,200億円	3,400億円
営業利益	492億円	535億円	600億円

2018年度中間期連結決算ハイライト(2018年3月1日~2018年8月31日)

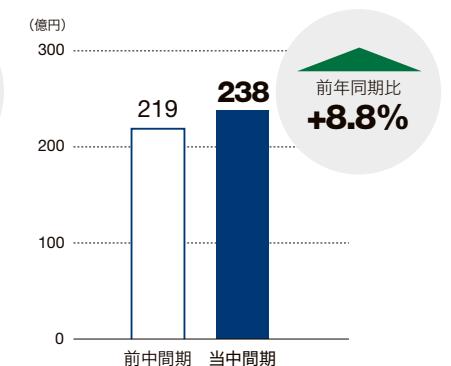
営業収益



営業利益

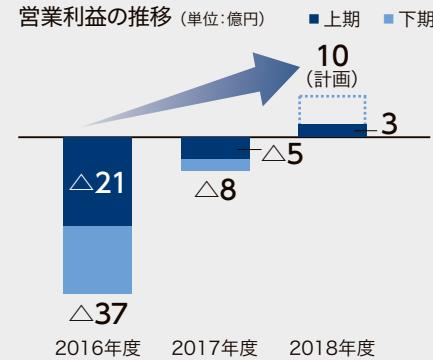


経常利益



ドミナント出店により、中国・アセアンともに黒字化を達成。

中国・アセアンでのドミナント出店により、着実にブランド力を高めた結果、海外事業全体で営業利益黒字化を達成しました。



中国

新規出店 イオンモール煙台金沙灘 (山東省煙台市)

2018年5月25日オープン
 経済技術開発区として中国内外から注目される山東省煙台市において、省内初となる「イオンモール煙台金沙灘」をオープンしました。モール内には市内初出店の店舗を含む計217の専門店が集結。地域最大級のキッズアミューズメント施設を備えた「キッズゾーン」も設けています。このほか、環境保全を重視する同市の街づくりと調和するよう、設計段階から省エネなどに配慮しています。



700インチの大型シースルーLEDビジョン

海外モール数 (2018年8月末現在)

中国			
18 モール			
北京・天津エリア	江蘇・浙江エリア	湖北エリア	広東エリア
8 モール	5 モール	3 モール	2 モール

新規出店 イオンモール広州金沙 (広東省広州市)



アセアン

新規出店 イオンモール センソックシティ (プノンペン都)

2018年5月30日オープン

プノンペン北部に、カンボジア2号店となる「イオンモール センソックシティ」をオープンしました。

モール内には「ウォーターパーク」「アクアリウム」「室内遊園地」をはじめとする多彩なアミューズメント施設をそろえ、大人の趣味・ライフスタイルに対応した各種専門店を配置。パスポート発行などの行政機能、各種の金融サービスを集積するなど、今後高い成長が見込まれるカンボジアのマーケットニーズを先取りしたモールづくりを行っています。



本格的なスライダーや流れるプールが楽しめるウォーターパーク



カンボジア大手行など5銀行のインスタブランチを集積



大型遊具が楽しめる室内遊園地



ローライゼーションに基づく 新規出店・リニューアルを推進し、 安定成長へ。

国内においては、地域の特性にあわせた
既存モールのリニューアル、新規モールのオープンを引き続き推進しました。



エンターテインメント



カーブ球団をデザインモチーフにした 広島県唯一の通年型アイススケートリンク
ポーリング場

新規出店

THE OUTLETS HIROSHIMA (広島県) 2018年4月27日オープン

「THE OUTLETS HIROSHIMA(ジ アウトレット ヒロシマ)」は、従来型のモールとは全く異なる“地域創生型商業施設”「THE OUTLETS」の1号店です。約120のブランドショップが集結するアウトレットゾーンや、広島県唯一の通年型アイススケートリンク「ワンダーリンク」をはじめとするエンターテインメント施設に加え、地元・広島と周辺地域の魅力を発信する各種ショップや情報発信拠点も備えています。

THE OUTLETS



瀬戸内・広島ならではの
地元グルメが楽しめる
飲食ゾーン



瀬戸内エリアの
職人やクリエイターが
手がけた雑貨ゾーン



本格アウトレット

地域との出会い



増床リニューアル

イオンモール宮崎 (宮崎県)

2018年3月16日増床リニューアルオープン

リニューアル
専門店数 **155**店

駐車場として利用していた南側敷地に増床棟を新設し、既存棟でも大幅なリニューアルを実施。約250の専門店を備えた九州最大級のモールとして生まれ変わりました。



増床棟エントランス



中庭空間「hinata TERRACE」

イオンモール熊本 (熊本県)

2018年7月20日増床リニューアルオープン

リニューアル
専門店数 **47**店

地震で被害を受けた西側準核ゾーンの面積を拡大し、増床棟として新たにオープン。新規出店と移転をあわせ、多彩なカテゴリーの専門店47店舗を導入しました。(防災への取り組みは裏表紙をご覧ください。)



イベントスクエア



人気ブランドを集積した
ファッション雑貨ゾーン

新規出店

イオンモール座間 (神奈川県座間市)

2018年3月16日オープン



イオンモールいわき小名浜 (福島県いわき市)

2018年6月15日オープン



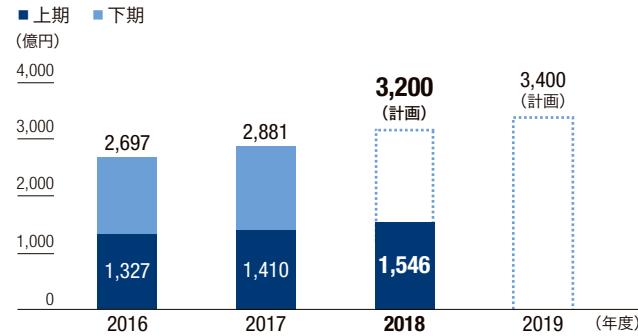
イオンモール津南 (三重県津市)

2018年11月9日オープン予定

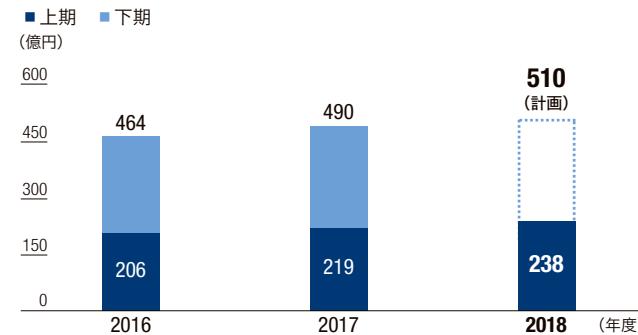


中間期決算サマリー (2018年8月31日現在)

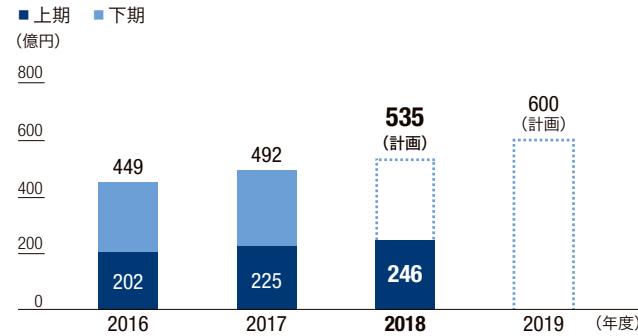
営業収益



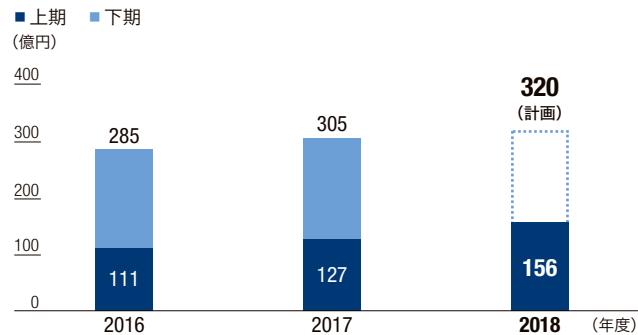
経常利益



営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益

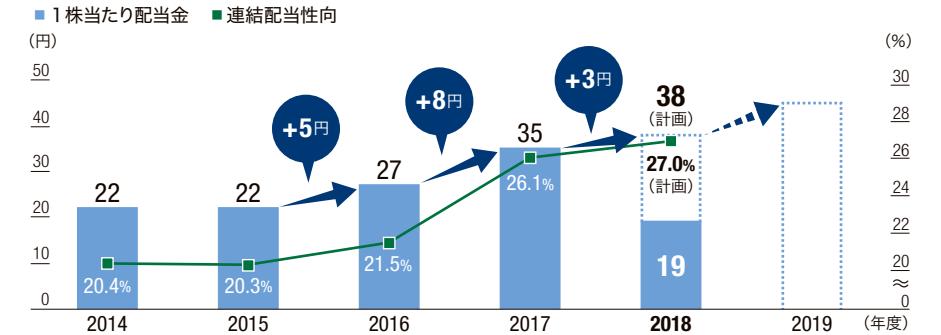


配当金推移

株主還元

2018年4月11日開催の取締役会において、海外事業がキャッシュ・フローを創出できるステージに入ったことから、連結配当性向を20%以上から25%以上に拡大しました。

2018年度中間期は当初予定通りの19円とさせていただき、期末配当と合わせた年間配当金は、1株当たり年間3円増配の38円を計画しています。



株主優待のお知らせ

対象株主さま

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された株主さまについて、実施いたします。実施対象は、1単元(100株)以上の株式を保有されている株主さまです。

保有株式数	ご優待品
100株～499株	3,000円相当のご優待品
500株～999株	5,000円相当のご優待品
1,000株以上	10,000円相当のご優待品

詳細については、2019年6月下旬に送付予定のご優待品選択に関するご案内をご覧ください。

ご優待品

3つのコースから1つを選択していただけます。

- ①「イオンギフトカード」
- ②「カタログギフト」
- ③「カーボンオフセットサービス」※

※このサービスを選択されますと、相当額分の二酸化炭素排出権が一般社団法人「日本カーボンオフセット」(<http://www.co-j.jp>)を通じて、国の償却口座に無償で移転されます。

【ご報告】

2018年2月期の実績では、31名の方よりご選択いただき、44トン分の二酸化炭素排出権を取得いたしました。



イオンギフトカード



長期保有株主優待制度

下記、条件1と2の両条件を満たす株主さまに2月末日の「株主名簿」に記載のご所有株式数に応じて、下表「株主ご優待品の内容」の基準の通りイオンギフトカードを進呈します。

条件1 同一株主番号で3年以上継続ご保有 かつ

条件2 2月末日の「株主名簿」で1,000株以上ご所有

※3年以上継続保有の株主さまとは、2月末日および8月末日時点の株主名簿に、同一株主番号で、7回以上連続で記載された株主さまとします。

株主ご優待品の内容

日本全国で展開するイオンモールをはじめ、イオングループ各店でご利用いただけるイオンギフトカードを進呈。

2月末時点保有株式数	イオンギフトカード金額
1,000株～1,999株	2,000円
2,000株～2,999株	4,000円
3,000株～4,999株	6,000円
5,000株以上	10,000円

贈呈時期：毎年5月中の発送を予定

会社情報

会社概要 (2018年8月31日現在)

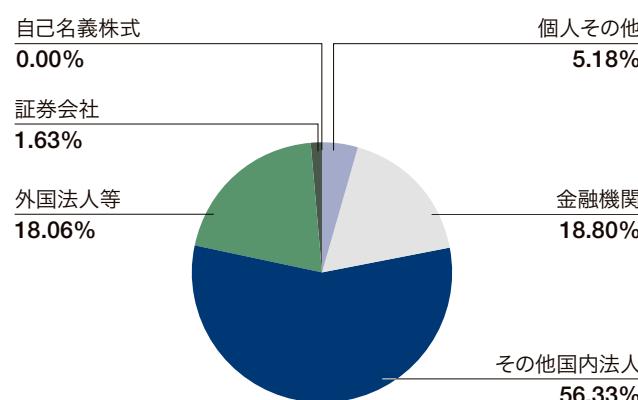
社名	イオンモール株式会社
英文社名	AEON MALL CO., LTD.
設立	1911(明治44)年11月
資本金	423億5百万円
本社所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
従業員数	3,372名
店舗数	200店(海外、都市型ファッションビル含む)

株式情報

株式の状況 (2018年8月31日現在)

発行可能株式総数	320,000,000株
発行済株式の総数	227,463,329株
株主数	45,191名

所有者別株式分布状況 (2018年8月31日現在)



取締役・監査役 (2018年8月31日現在)

代表取締役社長	吉田 昭夫	取締役	横山 宏
専務取締役	岩本 馨	取締役	伴井 明子
専務取締役	千葉 清一	取締役	平 真美 ※1、※3
常務取締役	三嶋 章男	取締役	河端 政夫 ※1、※3
常務取締役	藤木 光広	監査役	渡部 まき ※2
取締役相談役	岡田 元也	監査役	市毛 由美子 ※2、※3
取締役	玉井 貢	監査役	村松 高男 ※2、※3
取締役	佐藤 久之	監査役	速水 英樹
取締役	岡本 正彦		

※1 社外取締役 ※2 社外監査役 ※3 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

大株主(上位10名) (2018年8月31日現在)

	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	125,885	55.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,609	3.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,623	2.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,984	2.63
ビーエヌワイエムエスエーエヌバイ ノン トリーティー アカウント	3,832	1.68
ジェービー モルガン チェース バンク 385174	2,879	1.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,455	1.07
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	2,313	1.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	1,821	0.80
JPモルガン証券株式会社	1,802	0.79

(注)1. 持株数の千株未満は切り捨てています。
2. 発行済株式総数に対する持株数の割合は、小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

株主メモ

決算期

2月末日

基準日

定時株主総会基準日 2月末日

期末配当基準日 2月末日

第2四半期末配当基準日 8月末日

定時株主総会

5月末日までに開催

単元株式数

100株

株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

お問い合わせ先

イオンモール株式会社 管理本部 総務部
〒261-8539 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
電話 043-212-6463

公告方法

ホームページ <http://www.aeonmall.com>

電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式等に関するマイナンバーお届出のご案内

2016年1月から、社会保障・税・災害対策の行政手続きにおいてマイナンバーの利用が開始されています。株式等の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主さまのマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出ください。

マイナンバーの取扱いについて

マイナンバーの取扱いは、法律により厳格な保護措置が設けられており、利用範囲は社会保障・税・災害対策の行政手続きに限定されています。

マイナンバーの提供について

2016年1月以降、新たに証券会社とお取引をされる株主さまは、マイナンバーを証券会社に提供する必要があります。2015年12月以前より証券会社とお取引をされている株主さまも、2018年末までにはマイナンバーの提供が必要です。

未払配当金のお支払い、支払明細の発行

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

住所変更、単元未満株式の買取請求、口座振替、配当金受取方法の指定等

証券会社に口座をお持ちの株主さま
お取引の証券会社にお問い合わせください。

特別口座の株主さま
(証券会社に口座をお持ちでない株主さま)
みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

地域と連携して安全・安心を守るモールづくり

イオンモールいわき小名浜

防災モールとしての取り組み



2018年6月、福島県いわき市に「イオンモールいわき小名浜」をオープンしました。当モールは、東日本大震災の教訓を生かした「防災モール」としての機能に大きな特徴があり、重要施設を想定最大津波以上の高さに設置しているほか、非常用電源や簡易トイレなどの備えを充実。万一地震などが発生した際は、閉店後であっても避難者を受け入れる機能を有しています。



災害時に利用できる簡易トイレ



津波を想定した防災設計



非常用電源・コンセントを備えたホール



停電・断水時に使える電源や受水槽



イオンモール熊本

増床リニューアル時に耐震性能を強化

2018年7月に増床リニューアルオープンした「イオンモール熊本」では、熊本地震で被害を受けた西側のエリアに増床棟を建設。地震の教訓を生かし、吹き抜け部分の天井を軽量で揺れに強い「特定天井」とするとともに、照明や配管の設置方法などにも配慮しました。



軽量素材や耐震用器具を用いた「特定天井」。大きな揺れにも対応できる

北海道胆振東部地震への対応

JALなどと提携して物資の緊急輸送を実施

イオングループでは、平成30年北海道胆振東部地震に際して、JALグループなどの協力のもと、食糧などの緊急輸送を実施。ライフラインの維持に努めました。



各地で防災協定を締結

国内のモールの大半が、防災活動への協力などに関する協定を地方行政と締結。防災訓練などで協力するほか、避難拠点・復興拠点としてモールの施設を活用できるようにしています。